

# 平成22年度における都内私立学校の児童・生徒の問題行動等の実態

## 1 調査の概要

この調査は文部科学省が全国の小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制）、特別支援学校を対象に、平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）における「暴力行為」、「いじめ」、「不登校」、「高等学校における長期欠席」、「高等学校における中途退学者等」の実態把握のため実施したもののうち、私立学校分を取りまとめたものである。

### <調査対象>

|          |                   |      |
|----------|-------------------|------|
| 私立小学校    | 53校（児童数 26,862人）  |      |
| 私立中学校    | 187校（生徒数 81,066人） | 休校含む |
| 私立高等学校   | 237校（生徒数176,196人） | 休校含む |
| 私立特別支援学校 | 4校（児童・生徒数 188人）   |      |

※ 学校数及び児童・生徒数は、平成22年度学校基本調査（平成22年5月1日現在）による。  
ただし、「（5）高等学校（全日制）における中途退学者数等の状況」については、平成22年4月1日現在の高等学校の生徒（生徒数174,898人）が対象である。

## 2 調査結果の主な特徴 ※カッコ内は前年度数値

### （1）私立小学校、中学校、高等学校における暴力行為の状況 【資料の1（P3、4）参照】

平成21年度に比べ、暴力行為の発生件数は小学校、中学校、高等学校において増加している。

学校内で発生した暴力行為は小学校2校で4件（4件）、中学校39校で159件（132件）、高等学校63校で229件（200件）発生している。

学校外で発生した暴力行為は小学校1校で1件（0件）、中学校4校で5件（5件）、高等学校18校で24件（13件）発生している。

※ 本調査における「暴力行為」とは、「自校の生徒が故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって教師及び学校職員への「対教師暴力」、何らかの人間関係のある児童生徒同士による「生徒間暴力」、対教師暴力及び生徒間暴力の対象者を除く「対人暴力」、学校の施設・設備等の「器物損壊」（補修を要する落書き・掃除用具等の学校備品を故意に壊すなど）の四形態に分けている。

### （2）私立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校におけるいじめの状況

【資料の2（P4、5）参照】

平成21年度に比べ、いじめの認知件数は小学校、中学校において減少、高等学校において増加している。

いじめは小学校10校で24件（32件）、中学校57校で155件（164件）、高等学校48校で114件（96件）発生し、特別支援学校では、発生していない。

※ 本調査における「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とし、起こった場所は学校の内外を問わない。なお、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの学校の判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとしている。

【問い合わせ先】 生活文化局私学部私学行政課  
直通 03-5388-3194

(3) 私立小学校、中学校における不登校の状況

【資料の3 (P5) 参照】

平成21年度に比べ、不登校児童生徒数は小学校において減少、中学校において増加しており、不登校児童生徒の発生率は、小学校、中学校において増減はない。

不登校児童生徒数は小学校28人(33人)、中学校746人(717人)となっており、不登校児童生徒の発生率は小学校0.1%(0.1%)、中学校0.9%(0.9%)となっている。

※ 本調査における「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にあることをいう(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)。

また、「不登校児童生徒数」とは、不登校により平成22年4月1日から平成23年3月31日までに連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒をいう。

(4) 私立高等学校における長期欠席の状況

【資料の4 (P6) 参照】

平成21年度に比べ、長期欠席者数は全日制・定時制ともに増加している。

長期欠席者数は1,620人(1,490人)で、全日制は1,562人(1,439人)、定時制は58人(51人)である。

※ 本調査における「長期欠席者数」とは、学校基本調査の小学校・中学校における「長期欠席者」に準じて、「平成22年4月1日から平成23年3月31日までに30日以上欠席した生徒」をいう。

(5) 私立高等学校(全日制)における中途退学者数等の状況

【資料の5 (P6) 参照】

平成21年度に比べ、退学者数及び原級留置となった生徒数は増加している。

退学者数は1,890人(1,705人)で、退学率は1.1%(1.0%)であった。

平成23年3月31日で原級留置となった生徒数は252人(250人)で、原級留置率は0.1%(0.1%)となっている。